

# オステオパシー療法が、Fitness業界にもたらす、新たな可能性

2018年は医療やヘルスケア、健康分野でもデジタル化が進みAIというキーワードが注目を集めた。そんな中、古来よりの手技を用いるオステオパシー療法という医療技法が新たに注目を集めている。今回はオステオパシー療法の日本が代表する権威、一般社団法人スタイル・アカデミー・ジャパン(以下SAJ)の代表理事原田さんと理事石原さんにお話を伺った

**NEXT** オステオパシーという言葉が日本では、まだなじみが少ないように感じるのですが、どのようなものか教えてください。

**原田** オステオパシーは一般的に身体の機能的問題から生じる、腰痛・背部痛・骨盤痛・肩の痛み・膝の痛み・足首の痛み・肘の痛み・頭痛・消化の問題・動悸・月経困難・その他・これら幅広い身体機能障害から生じる問題に有効な治療手技です。

日本でもアメリカのオステオパシーの先生が書いた「エビデンスに基づいた徒手療法・(ガイアブックス)」が翻訳され、オステオパシー手技の効果を紹介した本が出版されています。

発祥は、アメリカのミズーリ州で、アンドリュー・テイラー・スティール(以下スティール)医師が1874年に創始した手による手技療法と一部の西洋医学を合わせた療法として誕生しました。後にオステオパシーの技術はイギリスにわたり、1917年にはイギリスの王室から信頼を得て、アメリカ以外の国で学校が初めて作られ、イギリスからヨーロッパ全体に広がります。基本的に、解剖学と生理学を元に全身を観察し手技を行います。カテゴリーは大きく分けて、筋骨格系・内臓系・頭蓋仙骨系の3つに分かれ、WHOが分類する世界の代替療法の認識においても、アメリカ・イギリス・フランス・イタリア・ドイツ・ロシア・ベルギー・スイスでは国から認められ法制化されています。理学療法士など医療資格者がオステオパシーを学びなおし転職する事も珍しくありません。オステオパシーは、その高い効果と独創性から世界の手技療法の最高峰とされています。

**NEXT** 歴史がある確立されたものなのですね。お話を伺う限りカイロやマッサージにも近いものを感じますが違いは何でしょうか。

として誕生しましたが、じつはこの体性機能障害が原因で身体の問題を起こして放置されている方がとても多いのです。例えば整形外科や整形外科は怪我の治療の専門家ですが、生傷の様な怪我のフェーズは大半は急性期の3ヵ月または3ヵ月以内で怪我の状態から回復しますが、怪我が治った後でも身体が痛んだり可動性が低下したり、機能的に乱れる場合は多くは体性機能障害が原因なのです。

**石原** 欧米ではいま理学療法士やスポーツトレーナーの多くがオステオパシーに転職する事があります。またはオステオパシーの一部を学び施術に組み込む方がとても多いのです。その理由はオステオパシーの有効性の高さからです。学ぶ事のメリットは、世の中に見過ごされている多くの身体の痛み・原因に「対し高い効果を得る事と、その応用性(様々な種類の症状)の広さにあると思います。欧州のスポーツやフィットネスを楽しむ一般の方の多くは、オステオパシーで身体

**石原** 例えばカイロプラクティックは背骨の歪み等の問題をメインに人間の健全性の問題を追究します。マッサージでは筋・筋膜に注目しますが、それに対してオステオパシーは全身の関節全てと全身の筋・筋膜を全てを観察・調整する多彩な手技を持ちます。

最近はやりの「筋膜リリース」もオステオパシーが起源といわれ、オステオパシーの創始者スティールは、この筋膜に古くから非常に注目していました。

本来の筋膜リリースは非常に繊細な手技で、まだ殆ど日本では知られていません。オステオパシーでは全身の筋膜に対するアプローチ法を持っています。

たとえば、痛みを解放する新しい手法「ストレッチ&カウンター・ストレッチ・テクニク」。ある一定時間、同じ姿勢をしていた後に急に違う動作をしようとする、筋肉に強い痛みが生じ、その痛みが時には長い期間おさまらなくなることがあります。昔はその痛みを取る事が難しかったのですが、オステオパシーの第一人者ローレンス・ジョーンズD・O.が開発した「ストレッチ&カウンター・ストレッチ・テクニク」はそういった痛みに対して非常に高い効果を出します。

**原田** 筋肉の起始・停止や筋の収縮力を利用して不良姿勢や骨格の歪み等を調整するだけでなく、内臓の間膜(内臓鞘)の問題を手で感じて見つけ内臓の問題を改善したり頭蓋骨と脳が表す動きを調整する事によって、スポーツに重要なパフォーマンス、バランス感覚、空間認知視覚、聴覚、スムーズな体の動きの改善など、これら全てによって全身がよりうまく機能するようになり、スポーツ選手のパフォーマンスは大きく変わってきます。

**NEXT** 今回新しく、専門的なコースを基礎から学べるコースを2019年4月を調整してもらおう事はご存知ですか。

フランスではオステオパシーは非常に高い評価を得ていて、フランスのプロスポーツ界ではオステオパシーでコンディショニングを整える事で高いパフォーマンスを得られる事が知られています。

**原田** サッカーのフランス代表チームが今年のワールドカップで優勝しましたが、専属のオステオパシーが代表チームを支えています。また、プロテニス界でも同じくオステオパシーの有効性が知られています。ベルギーの元女子テニスの世界一に輝いたキム・クライシュテルスさんが運営するテニスアカデミーでは、専属のオステオパシーが選手の身体調整をし、錦織選手もその治療を受けに行った事がニュースになりました。当学校のフランス人講師陣はフランスのナショナル・チームのトップ・アスリートを数多くみています。全ての選手名は言えませんが、ボルデーノ先生はフランスのフィギュアスケートのメダリストのフィリップ・キャンデロロや、イワンボフ先生はフランスのあるプロ・サッカーチームの専属の先生で、また今年のワールドカップを取った代表選手の一人にもオステオパシーの施術を行っています。さらにバルバク先生はフランスのバスケットボールのナショナル・チームの選手に施術を行っています。

このように一般の方から一流選手を含めてアスリートにとってオステオパシーは身近で有効な技術です。ぜひオステオパシーの手技による本格的な調整をお勧めします。またスポーツ選手の方や、従来はスポーツケアのトリートメントをより発展させたいとお考えのプロの方にも是非きちんとしたオステオパシーを理解し学んで頂きたいと思っています。

**NEXT** 最後に今後の展望とNEXT



**原田 健穰** (ハラダケンジョウ)  
日本オステオパシーメディスン協会 会長  
スタイルアカデミージャパン 代表理事  
SAJ1期生 Ostéopathe D.O.

一般の方から一流選手を含めてアスリートにとってオステオパシーは身近で有効な技術です。

原田

を作る事になりました。

月から開講されると伺いました。開校の経緯と狙いを教えてください。

**石原** 世界的に知られるオステオパスであるフランスのジャン・ピエール・パラル先生の紹介で、フランス政府認定校のアンドリュー・テイラー・スティール・アカデミー(ATSA)と提携しSAJは誕生しました。当校は日本の国家資格基準の手技療法の教育と比較しても遜色のないカリキュラムで、世界のオステオパシー業界に日本の学校として提示しても恥ずかしくない高レベルの学校です。

これまで、SAJは日本の医療系国家資格を持った人しか入学することはできませんでしたが、SAJの教育がフランス人講師から直接教わる事ができ非常にクオリティの高い教育であるという評判が高まり「資格を持っていないのですがオステオパシーを学びたい」という声が多く上がってきた事が理由に上げられます。

本場フランスの提携校であるATSAの学長と協議し、日本の国家資格と同等の基礎医学教育を必修とすることを条件に、医学知識がゼロの人でも入れる学校

の読者の皆様にメッセージをお願いします。

**石原** 当校がよりアカデミックに充実したオステオパシー学校に成ればと考えています。

また最近フランス政府がオステオパシーの学校に対して、オステオパシーの科学研究を義務づける事になる話が出ていて、私たちの提携校のATSAもオステオパシーの「脊椎の矯正に対する自律神経への効果」を研究しています。将来はオステオパシーのエビデンスをフランスから日本に伝えられればと考えています。

今まで医療ではなくヘルスケア、フィットネス分野で活躍されていた方、これから就職をお考えの方は、学ぶことで人生のフェーズが数段階上がり利用者も自分も得るものが多いでしょう。

ぜひオステオパシーに興味を持たれた方や学んでみたいと感じた方は当学校にお問い合わせ下さい。オステオパシー・医療・フィットネス・ヘルスケアを、より日本の未来を健康的に美しく国民の笑顔を増やしていきたいでしょう。



## 2019年4月 フルタイム基礎コース開講!

フランスの政府認定校と提携し、日本にいながら5年間で本場フランスの一流講師陣による最先端のカリキュラムを学べます。(授業は通訳が入ります)医療従事者(国家資格保持者)専門コースもあわせて体験説明会開催中!

詳細は   で検索!

一般社団法人スタイルアカデミージャパン  
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7ユービル 7階 7D号室  
TEL: 03-6661-9028 MAIL: osteopathy.saj@gmail.com

